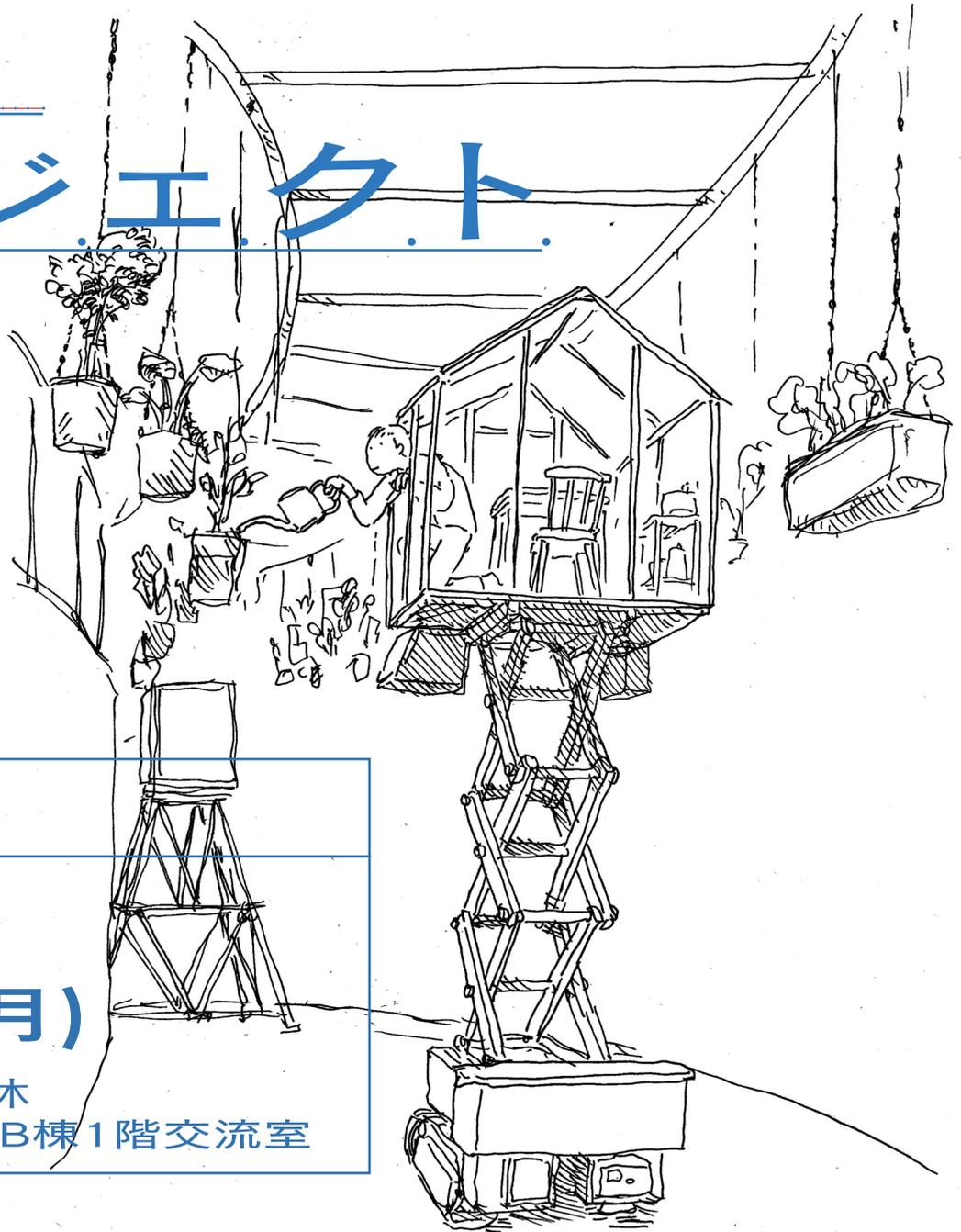


國府理

《相對溫室》

循環

プロジェクト



資料展

2024.

12.15(日)

—12.23(月)

12:00～18:00 無休

京都市立芸術大学B棟1階交流室

+

木製プランターの

再活用プラン案の募集

詳細は裏面を参照



芸道研
GEISHIKEN

京都市立芸術大学
Kyoto City University of Arts — founded in 1880 —

國府理 《相對温室》 循環 プロジェクト

作家が遺した作品の一部は、「芸術資源」として、未来の創造活動や記憶の共有にどうつながるでしょうか。國府理（1970-2014、京都市立芸術大学彫刻専攻修了）は、自動車などの乗り物をモチーフに、可動性や強度をそなえた大型立体作品を制作した美術作家です。遺作の《相對温室》（2014）は、循環する水によって木製プランターから植物の種が芽吹き、生態系への思考をうながす作品です。國府が制作した木製プランター18個をご遺族より提供いただきました。学生の皆さんに、作品の素材や学内での活動として再活用してもらうことを目的とし、《相對温室》の資料展示と再活用プラン案を募集します。再活用の事例は、成果発表の機会を設ける予定です。

2024年は、國府が事故で急逝してから10年の節目の年にあたります。國府は、自動車やパラボラアンテナなど工業製品を素材に用いつつ、植物や水という自然現象を取り込み、人工と自然の共生関係を考えてきました。都市部に移転した崇仁キャンパスで、隣接する高瀬川など植物や自然との共生を考える上でも、國府作品が示唆を与えてくれるでしょう。

國府自身、自動車のエンジンを水槽の中で稼働させるなど、「自動車」の本来の機能を逸脱・拡張する作品を制作しました。今回の「プランター」の使いみちも、植物生育用に限定されません。絵の支持体にする、版木にする、楽器の素材にする、ポートにして高瀬川に浮かべてみる…再活用のアイデアは無尽大に開かれています。学生の皆さんからのたくさんの応募をお待ちしています。



撮影：山本紉、写真提供：国際芸術センター青森

《相對温室》 資料展

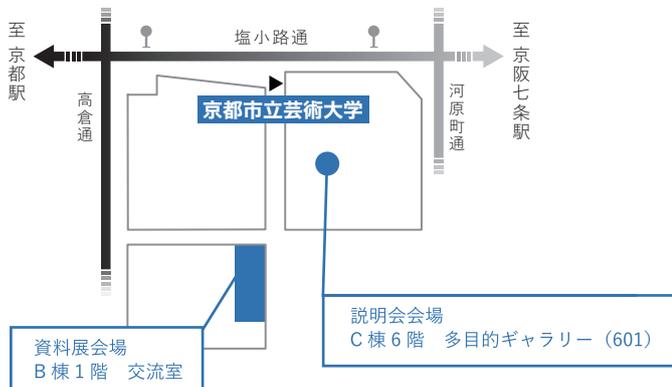
2024年12月15日（日）～23日（月）
12:00～18:00 無休
京都市立芸術大学 B棟 1階 交流室

作品関連資料とあわせて、木製プランターの実物を展示します。素材感や重さ確かめに来てください。

説明会

2024年12月19日（木）15:30～17:00
申込不要・途中参加OK
会場：京都市立芸術大学 C棟 6階 多目的ギャラリー（601）

会期中に学生を対象とした説明会を開催します。記録映像の特別上映と《相對温室》についてのミニレクチャー後、再活用のアイデアをブレインストーミング的に話し合います。



主催：京都市立芸術大学 芸術資源研究センター 2024年度重点研究プロジェクト「現代美術の保存修復／再制作の事例研究—國府理《水中エンジン》再制作プロジェクトのアーカイブ化」
協力：國府克治、青木兼治、ARTCOURT Gallery
フライヤーデザイン：駒井志帆

再活用を予定している 木製プランター



高さ25cm×横幅35cm×長さ（奥行き）約194cm 計18個

再活用プラン案の募集

締め切り：2025年3月15日（土）
結果通知：2025年3月末
制作期間：2025年4月以降～
成果発表：2025年秋頃予定

対象：基本的に、京都市立芸術大学の学生を対象とします。それ以外の方で応募を希望される場合は、お問い合わせください。
応募先・問い合わせ先：junkan.project@gmail.com
必要事項：再活用プラン案（PDFデータ5ページ程度まで）、お名前、所属先、連絡先（メールアドレス、電話番号）

- ・プランターの個数は特に制限を設けませんが、応募が多数になった場合、個数を減らす調整をお願いする可能性があります。
- ・応募で得た個人情報、本プロジェクト以外の目的では使用しません。
- ・応募内容は主催者側で検討し、本企画の趣旨に合致しない内容であった場合、お断りする可能性があります。

同時期開催

兵庫県立美術館にて開催予定のグループ展に、國府理の《水中エンジン》が展示されます。あわせてご覧ください。
阪神・淡路大震災30年企画展「1995⇄2025 30年目のわたしたち」
2024年12月21日（土）～2025年3月9日（日）